13:00～14:25

DX Innovation
Challenge 2021

2/17(水)開催発表会

アジェンダ

- 13:00　**開会のご案内**
- 13:05　**主催挨拶**
  渡辺博之(一般社団法人 組込みシステム技術協会（JASA）理事、
  ET事業本部長／株式会社エクスモーション 代表取締役)
- 13:15　**講演「DXによるイノベーション実現のためのアプローチ」**
  白坂成功(慶応義塾大学大学院　システムデザイン・マネジメント研究科　教授　博士)
- 13:55　**開催概要案内**
- 14:10　質疑応答

14:25　終了予定

組込みシステム技術協会（JASA）

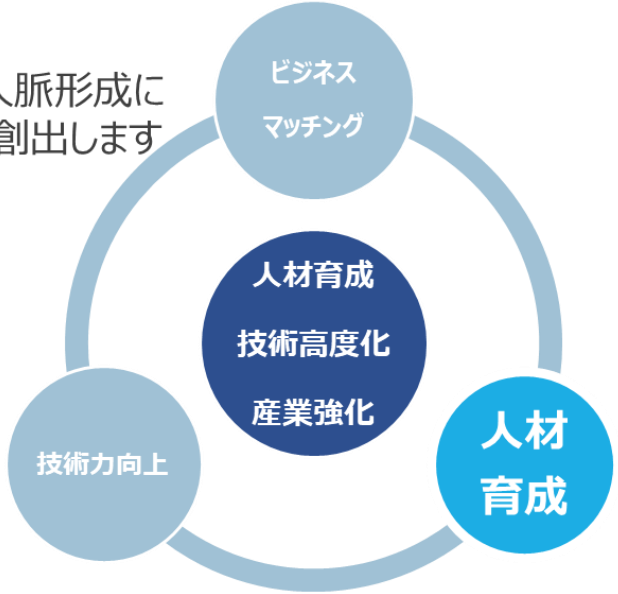
- JApan Embedded Systems Technology Association
  - エレクトロニクス、IoT分野の基幹技術である「組込みシステム技術」を代表する業界団体
- 活動目的
  - 組込みシステム技術に関する普及、啓発、教育・資格認定など様々な事業を展開し、会員・業界の便を図るのみならず、地域振興等、広く公益に資すること
- 会員（2020年4月1日現在）
  - 正会員：143社、支部会員：13社、賛助会員：29社 、学術会員：3団体、個人会員：8名

ミッション

ET × ET ＝ スマートな社会の実現に向けたパラダイムシフトの推進

(Embedded Technology) (Edge Technology)

展示会、交流会など、人脈形成に直結する多彩な機会を創出します

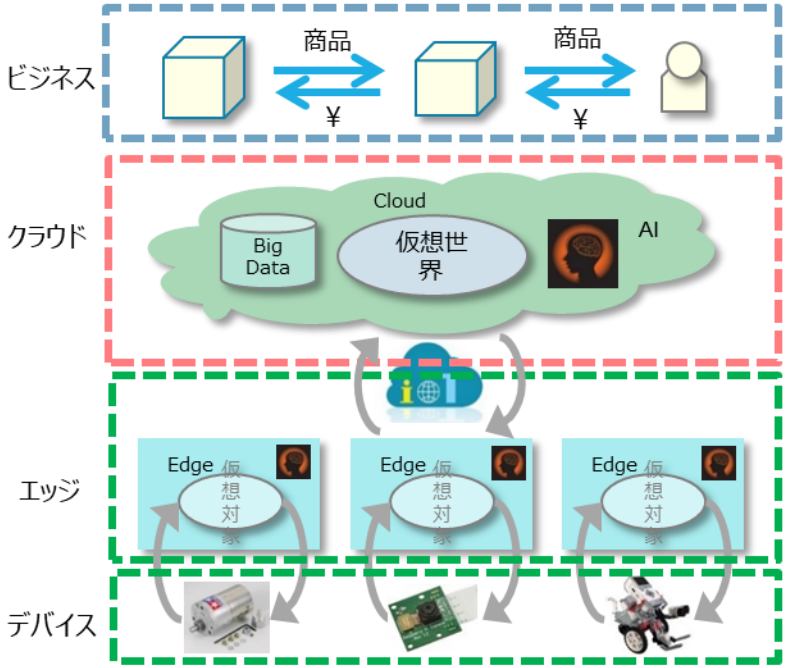


飽くなき探究心でホットな技術テーマに取り組み、普及推進を展開しています

次代の業界リーダーを目指して、試験制度、コンテストなど独自のプログラムを展開しています

狙いの異なる「２つのコンテスト」

ビジネスモデルから制御実装まで、
組込み業界に必要な**次世代人材の育成**を目指す



組込み開発人材育成プログラム

○**制御技術とモデリング**
○これからの"**IT/組込みエンジニア**"を育成

エンジニアリング

ETロボコン
(2002-20)
※2002－2004は、
UMLロボコンとして実施

イノベーション人材育成プログラム

○IoTを使った**ビジネスの企画・検討と、**
それを実現する**アーキテクチャの検討**
○これからの組込み業界を牽引できる
人材の発掘・育成

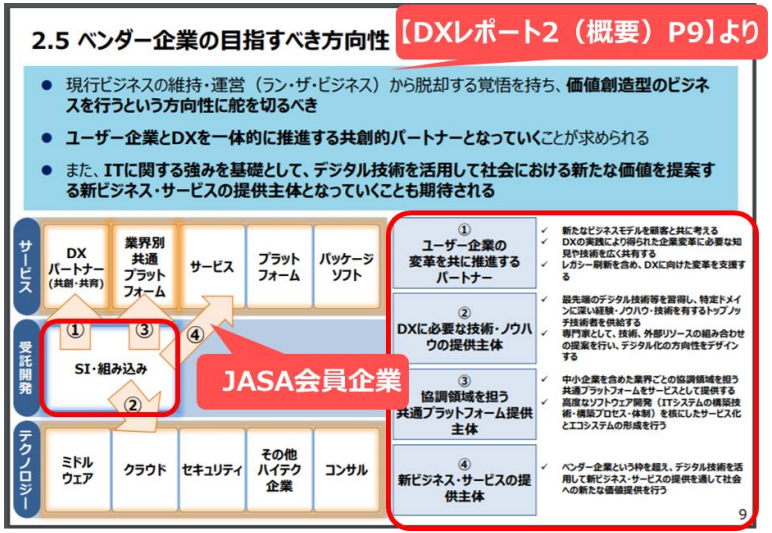
デザイン
&
ビジネス

IoT
イノベーション
チャレンジ
(2018-20)

IoT
ハッカソン
(2015-17)

2021年、DX加速化の中で、イノベーション人材の育成の重要性が、これまで以上に急務！

- システムベンダー企業は、ユーザ企業と共に**ユーザ企業の価値創出を目指す共創型のビジネス対応**が求められている
- さらには、ベンダー企業自身においても現状の受託型労働集約ビジネスからさらなる自社価値の向上の対応していくためには、**DXでの新規事業の立ち上げを目指す必要**がある



しかしながら、ベンダー企業各社においては日々の業務への対応に精一杯であり、新規ビジネスや顧客価値向上を考え、つくりあげていくような**社内を牽引する人材は乏しく**、またそうした人材を**サポートする組織ともなっていない**のが現状である

この状況を踏まえ、2021年より新たに「DXイノベーションチャレンジ」として開催！

DXによる、新価値創出とビジネス実装を推進できる人材を育成

価値創造
人材育成への
ステップアップ

2021年
参加計画
70チーム

2021年　DX イノベーションチャレンジ
Society5.0に向けたイノベーション創出

2018-2020年　IoTイノベーションチャレンジ
SDGsをテーマにIoTを活用したビジネスの企画立案
※2020年から全プログラムオンライン開催全国からの参加可能

延べ
88チーム

2015-2017年　組込みIoTハッカソン
課題のもとにIoTサービスを開発、実装を行う

延べ
23チーム

DXイノベーションチャレンジとは

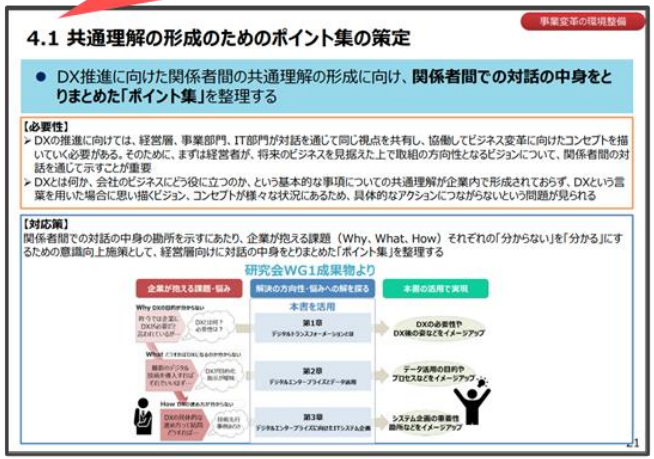
- 開催目的
  - DXによるイノベーションで**これからのデジタル社会を牽引できる人材を育成**
  - さらに、その人材が活躍できる場作りとして経営者・管理者への啓蒙育成をも実施することで、**企業そのものの新価値創出への変革を推進**
- 開催内容
  - **人材育成プログラム**
    - 各界著名人によるセミナー、実践的ワークショップ等により、知識、手法を体系立てて学ぶ
    - 学んだ内容を元に、近未来の社会課題(SDGs等）解決をテーマとした新規ビジネスを企画
    - 企画にあたっては、専門家が内容を評価しながら、進め方を見直す相談会（メンタリング）を複数回実施し、参加者と共に伴走する形での育成プロセスを実施
  - **新規ビジネス創出コンテスト**
    - チームごとの競い合いによる成長を促す企画プレゼンテーション大会を実施
    - 専門家による審査、フィードバックを実施
    - プレゼンテーションにてプロジェクト完了となり、企画内容優秀チームは表彰

DXイノベーションチャレンジの３つの特徴

◆経営サイドと現場サイドが一緒に学ぶ

参加者(現場サイド)が自社に戻って価値創造型ビジネスを創出する牽引者となることを目標とし、そうした人材を組織的にサポートし、活躍できる場を持てるよう経営サイドへの啓蒙を含んだセミナーも実施します

経営層、事業部門、IT部門が
対話を通じて同じ視点の共有が必要

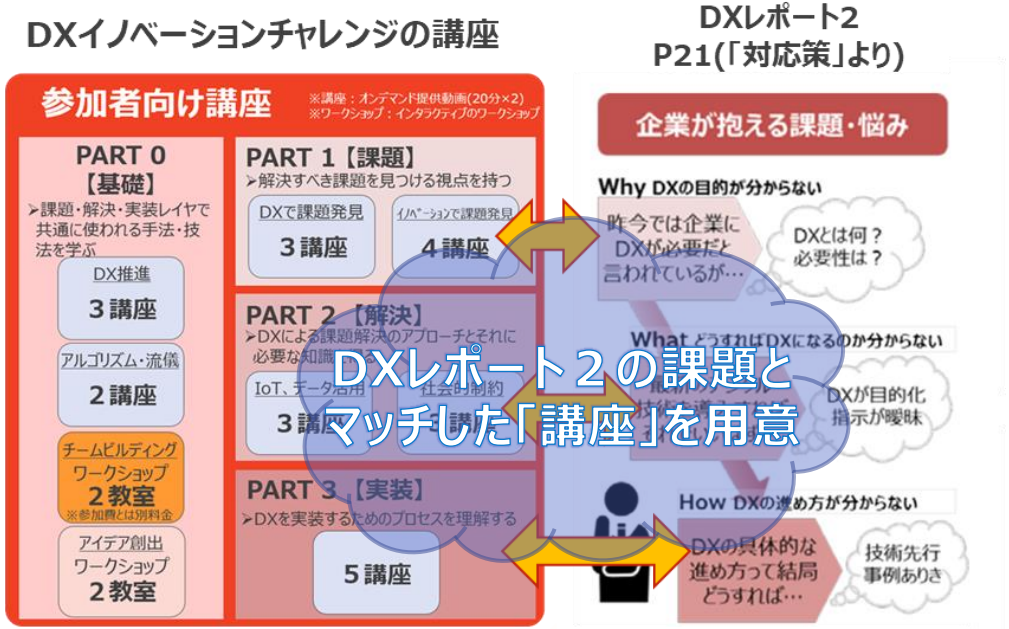


DX レポート 2 中間取りまとめ （概要）P21

DXイノベーションチャレンジの３つの特徴

◆カリキュラムを体系的に学ぶ

各界著名人による講座、実践的ワークショップの体系性を明らかにし、経営者や参加者が適切な学びの計画を行うことができるよう、関連性の順序を示す「講座マップ」を導入します



DXイノベーションチャレンジの３つの特徴

◆全育成プログラムをオンラインで学ぶ

全国からこれまで以上に多様な背景を持つチームの参加を促すことを目的に、講義(※)、ワークショップ、またプレゼンテーション審査や決勝大会すべてオンラインにて実施します

※参加者のペースとスタイルで時間や場所を選ばず学べる動画コンテンツ

DX Innovation Challenge 2021

開催概要

3つの特徴

① 経営サイドと現場サイドが一緒に学ぶ

② カリキュラムを体系的に学ぶ

③ 全育成プログラムをオンラインで学ぶ

✓経営者向けプログラムのご紹介

✓参加者向け育成プログラムのご紹介

経営者向けプログラム

アドバンスセミナー
～DX推進、何から始める？～

浮き彫りになったDX
企業が取るべきアクション

DXへの第一歩を
どう踏み出すべきか

開催日程：3月～5月（予定）
参加費：無料　＊参加を検討中の方も受講できます

エグゼクティブセミナー
～両翼型のDX推進へ～

DX推進への
イノベーション戦略

経営者が学ぶDX

開催日程：6月～9月（予定）
DXイノベーションチャレンジ参加企業の方が受講できます

昨年(2020年)の講師陣

白坂成功
慶応義塾大学大学院　システムデザイン・マネジメント研究科　教授　博士

和泉憲明
経済産業省商務情報政策局アーキテクチャ戦略企画室長（併）ソフトウェア・情報サービス戦略室

鷲崎弘宜
早稲田大学グローバルソフトウェアエンジニアリング研究所所長／国立情報学研究所 客員教授／株式会社システム情報 取締役(監査等委員)博士(情報科学)／株式会社エクスモーション 社外取締役

平鍋健児
株式会社永和システムマネジメント　代表取締役社長／株式会社チェンジビジョン　代表取締役CTO

稲谷龍彦
京都大学大学院法学研究科准教授

徳田昭雄
立命館大学　副学長／経営学部経営学科　教授

篠原稔和
NPO法人 人間中心設計推進機構（HCD-Net）理事長／ソシオメディア株式会社 代表取締役

増田睦子
一般社団法人行政情報システム研究所　研究員

小西一有
合同会社タッチコア 代表／九州工業大学 客員教授／同志社大学大学院 嘱託講師

今西航平
株式会社キカガク 取締役副社長

- 有馬仁志　有馬マネジメントデザイン株式会社 代表取締役社長
- 鱗原晴彦　株式会社U'eyes Design 取締役会長／NPO法人人間中心設計推進機構 前理事長
- 大橋正司　モニカ株式会社 取締役
- 鈴木啓高　エスディーテック株式会社 取締役副社長 CTO
- 竹森敬祐　DNV GLビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社 プリンシパル
- 立本博文　筑波大学大学院ビジネス科学研究科 教授
- 田平博嗣　博士(工学)／株式会社U'eyes Design 代表取締役／相模女子大学学芸学部 非常勤
- 田丸喜一郎　独立行政法人情報処理推進機構（IPA）専門委員
- 中川郁夫　株式会社 エクスモーション フェロ ー／大阪大学招へい准教授
- 広瀬毅　慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教
- 丸山満彦　PwCコンサルティング合同会社　パートナー
- 森崎修司　名古屋大学大学院 情報学研究科 准教授
- 渡辺博之　一般社団法人 組込みシステム技術協会（JASA）理事、ET事業本部長／株式会社エクスモーション 代表取締役

参加者向け育成プログラム（学びの体系化プログラム）

◆Part 0　基礎
- ゴール：課題・解決・実装レイヤで共通に使われる手法・技法を学ぶ

◆Part 1　課題レイヤ　Why（DXの目的が分からない）
- ゴール：解決すべき課題を見つける視点を持つ

◆Part 2　解決レイヤ　What（どうすればDXになるか分からない）
- ゴール：DXによる課題解決のアプローチとそれに必要な知識を得る

◆Part 3　実装レイヤ　How（DXの進め方が分からない）
- ゴール：DXを実装するためのプロセスを理解する

参加者向け教育プログラム（学びの体系化プログラム）

参加者向け講座

※講座：オンデマンド提供動画(20分×2)
※ワークショップ：インタラクティブのワークショップ

PART 0【基礎】

➢課題・解決・実装レイヤで共通に使われる手法・技法を学ぶ

- DX推進 ３講座
- アルゴリズム・流儀 ２講座
- チームビルディングワークショップ ２教室 ※参加費とは別料金
- アイデア創出ワークショップ ２教室

PART 1【課題】

➢解決すべき課題を見つける視点を持つ

- DXで課題発見 ３講座
- ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝで課題発見 ４講座

PART 2【解決】

➢DXによる課題解決のアプローチとそれに必要な知識を得る

- IoT、データ活用 ３講座
- 社会的制約 ３講座

PART 3【実装】

➢DXを実装するためのプロセスを理解する

- ５講座

- ➢ 各界著名人による講座、実践的ワークショップで構成
- ➢ 講座は全オンライン・オンデマンドにて提供

カリキュラム

2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
経営者
アドバンスセミナー
エグゼクティブセミナー
決勝大会審査
決勝大会
参加募集期間
5月31日(月)まで
参加者
ワークショップ
チームビルディング
アイデア創出
講座
動画講座
相談会
企画/検討
アドバイス
審査前
アドバイス
最終
アドバイス
コンテスト
課題調査
ソリューション詰め
一次審査
(書類)
二次審査
(プレゼン)
決勝大会

実施内容／課題

参加チームは、育成プログラム（講座／ワークショップ／相談会）を通して獲得した知識や考え方を活かし、新規ビジネスの企画・立案にチャレンジします

➢課題

DXによるイノベーションによって今後の**課題**を解決する企画・立案

➢審査対象

ソリューションを表現した資料、プレゼンテーション

実施内容／課題

➢審査の流れ

- 書類審査：提出された発表資料を元にした審査
- 公開プレゼン審査：書類審査を通過したチームにより実施
- 決勝審査：公開プレゼン審査にて選出されたチームによる最終審査

書類審査

セミファイナリスト →

公開プレゼン審査

ファイナリスト →

決勝審査

審査員審査／一般審査

約70→約30チーム

書類提出による審査

約30→約10チーム

オンラインプレゼン審査

※審査員を前にオンラインでプレゼン

約10チーム

オンラインプレゼン審査

※審査員を前にオンラインでプレゼン

参加チーム募集要項

➢参加資格

- チームの全員が申し込み時点で18歳以上であること
- 参加者はインターネットにアクセスできること
- 有効な電子メールアドレスを保有していること
- 参加登録および応募にあたって必要となる記載事項の提出および事務局との連絡にあたり日本語での提出・連絡を行なえること

[注意事項]

- ネット環境、PCの準備は各自必須となります
- インターネット接続料および通信費は参加者の負担となります

参加カテゴリ

➢**一般カテゴリ**（チーム参加）

- 3～5名のメンバーから成るチームを構成してお申し込みください
- 参加チームのメンバーとしてインターンシップ等の学生が参加可能

例）単一企業、グループ企業の参加

➢**混成カテゴリ**（個人参加）

- 1名単位でお申し込みください
- お申込み後、実行委員会にて他社・他団体とのチーム編成をし、ご連絡します
- チーム・ビルディング・ワークショップの参加費用が含まれます

※申込み人数が集まらない場合、「混成カテゴリ」の実施が中止となる場合があります。

＊お申込み時に「一般」「混成」どちらかのカテゴリを選択いただきます

参加費(税込)

一般カテゴリ (1チームにつき)		混成カテゴリ
企業 （自治体、公的機関含む）	JASA会員企業、 ET/IoT出展社	1名につき ※チームビルディングワークショップ参加含む
220,000円	**165,000円**	**88,000円**

▼参加チーム提供内容

1. 講座／ワークショップへの参加
2. 審査員／講師との相談会
3. 公開プレゼンテーション観覧
4. 決勝大会（11/19）の観覧
5. 経営者セミナーの受講権

▼チームビルディングワークショップ参加費
一般カテゴリ1チーム（3～5名）につき110,000円（税込）

✓ 6月初旬～中旬にて、オンラインによる実施予定
✓ 詳細が決まり次第、後日ウェブサイトにてお知らせいたします。

DX Innovation
Challenge 2021

スポンサーシップご案内

スポンサーシップ

スポンサー種別（税込額）					
	ダイヤモンドスポンサー	プラチナスポンサー	パールスポンサー	エンジェルスポンサー	プライズスポンサー
スポンサー費用	¥1,100,000	¥660,000	¥330,000	¥110,000	―
依頼内容	参加チーム支援大会運営のための資金提供				副賞、参加賞の提供
スポンサーメリット*1					
1. ロゴの掲出	○	○	○	○	○
2. チーム参加権*2	3チーム無料	2チーム無料	1チーム無料	―	―
3. 講座視聴権	15名／回	10名／回	5名／回	3名／回	―
4. WEBパンフレット広告掲載	1ページ	½ページ	¼ページ	―	―
5. 経営者エグゼクティブセミナー参加権	5名／回	3名／回	1名／回	―	―
6. 経営者エグゼクティブセミナー プレゼンテーション	30分	15分	―	―	―
7. コンテスト審査権	3名分	2名分	1名分	―	―

*1 その他ご要望に応じて対応いたします　*2 混成カテゴリは、2人分＝1チームとして換算します

スポンサーお申込み

事務局へお知らせください

info@iot-innovation-challenge.net

※オンラインや事務局での個別相談も受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

DX Innovation Challenge 2021

開催発表会

ご視聴いただきありがとうございました